



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
コード番号 9438 URL <https://ir.mti.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	20,536	2.0	1,752	—	2,363	—	2,243	353.0
2023年9月期第3四半期	20,138	4.1	△17	—	151	72.4	495	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 2,322百万円(395.1%) 2023年9月期第3四半期 469百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	40.88	40.86
2023年9月期第3四半期	9.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	30,287	18,933	50.3
2023年9月期	29,155	17,583	47.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 15,220百万円 2023年9月期 13,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2024年9月期	—	8.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	2.6	2,200	637.2	2,750	499.8	2,400	218.6	43.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	61,303,000株	2023年9月期	61,264,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	6,361,273株	2023年9月期	6,405,973株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	54,885,667株	2023年9月期3Q	54,833,564株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの当第3四半期決算説明会は、オンデマンド配信の形式で行います。動画および説明会資料は、2024年8月7日(水)15時以降に当社IRサイトへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年9月期 第3四半期の概況 (2023年10月1日～2024年6月30日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動がありましたが、ヘルスケア事業や法人向けDX支援事業における売上伸長があり、20,536百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

売上総利益については、前年同期に同社においてスポット計上した動画仕入の反動があるとともに、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことにより売上原価が大幅に減少した結果、15,093百万円（同10.6%増）と大幅に増益となりました。

営業利益については、売上総利益の増益に加えて、広告宣伝費が増加する一方で人件費や外注費の減少を主因とする販売費及び一般管理費（販管費）の抑制により、1,752百万円（前年同期は17百万円の損失）と大幅に増益となりました。

経常利益については、営業利益の増益に加えて、持分法適用関連会社の株式会社昭文社ホールディングスにおいて特別利益を計上したことを主因に持分法による投資利益615百万円（前年同期は78百万円）を計上したことにより、2,363百万円（前年同期は151百万円）と大幅に増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益の前年同期比減少等を経常利益の増益によりカバーし、2,243百万円（前年同期比353.0%増）と大幅に増益となりました。

連結業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

	2024年9月期 第3四半期	2023年9月期 第3四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	20,536	20,138	+398	+2.0
売上原価	5,443	6,495	△1,051	△16.2
売上総利益	15,093	13,643	+1,449	+10.6
販管費	13,340	13,661	△320	△2.3
営業利益（△は損失）	1,752	△17	+1,770	—
経常利益	2,363	151	+2,211	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,243	495	+1,748	+353.0

販管費内訳(2023年10月1日～2024年6月30日)

	2024年9月期 第3四半期	2023年9月期 第3四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	13,340	13,661	△320	△2.3
広告宣伝費	2,012	1,569	+442	+28.2
人件費	5,409	5,904	△495	△8.4
支払手数料	2,135	2,223	△87	△3.9
外注費	1,319	1,513	△194	△12.8
減価償却費	998	908	+89	+9.9
その他	1,466	1,526	△60	△4.0

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は307万人（2023年9月末比6万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動があり、12,629百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費が増加したことにより、3,320百万円（同17.1%減）となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は51万人（2023年9月末比4万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が引き続き高いクラウド薬歴の導入店舗数の拡大に注力し、第3四半期の導入店舗数が四半期ベースで過去最高であった結果、2024年6月末の同店舗数は2,297（2023年9月末比504増）となりました。

売上高は、クラウド薬歴および子育てDX等の売上高が伸長したことにより4,023百万円（前年同期比19.1%増）となりました。営業利益については、増収効果と費用抑制効果により、279百万円（前年同期は233百万円の損失）と黒字転換し、大幅増益となりました。

③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2024年4月からのクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数は775校（2023年4月比234校増）となり、月額利用料収入が増加したことにより885百万円（前年同期比52.3%増）となりました。営業損失については、売上高の大幅増加とともに開発費の抑制効果による外注費の削減により第3四半期が黒字転換した結果、103百万円の損失（前年同期は569百万円の損失）と赤字額が大幅に縮小しました。

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、AI事業および法人向けDX支援事業の受注が拡大したことにより4,347百万円（前年同期比20.7%増）となりました。営業利益については、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、178百万円（前年同期は1,220百万円の損失）と黒字転換し、大幅増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は30,287百万円となり、2023年9月末対比1,131百万円増加しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金の増加を主因に1,109百万円増加しました。固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少しましたが、投資有価証券が増加したことにより22百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等が減少しましたが、未払金および契約負債が増加したことにより197百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより415百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益として2,243百万円を計上したことにより1,349百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業のさらなる売上拡大および収益拡大に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強い状態が続いています。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施していきます。

特に調剤薬局での導入意欲が引き続き高いクラウド薬歴については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、子育てDXについては、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に拡販すること、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことを通じて、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

【業績予想数値の前提】

当社グループにおける未確定な新規事業や蓋然性の低いM&Aの影響等は考慮しておらず、業績予想の数値に織り込んでいません。今後、見通しと業績予想との間に乖離が生じ、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示します。

2024年9月期 通期 連結業績予想
(2023年10月1日～2024年9月30日)

	(百万円)	前期比 (%)
売 上 高	27,500	+2.6
営 業 利 益	2,200	+637.2
経 常 利 益	2,750	+499.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	+218.6

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,720,915	14,617,351
受取手形、売掛金及び契約資産	4,197,136	4,183,168
その他	1,056,294	1,283,502
貸倒引当金	△33,941	△34,023
流動資産合計	18,940,404	20,049,998
固定資産		
有形固定資産	213,711	222,280
無形固定資産		
ソフトウェア	1,894,135	2,041,548
のれん	240,012	66,518
顧客関連資産	491,400	175,500
その他	230,614	273,606
無形固定資産合計	2,856,162	2,557,173
投資その他の資産		
投資有価証券	4,081,380	4,636,312
敷金及び保証金	305,268	295,939
繰延税金資産	2,658,854	2,476,149
その他	110,361	60,216
貸倒引当金	△10,704	△10,704
投資その他の資産合計	7,145,160	7,457,913
固定資産合計	10,215,035	10,237,367
資産合計	29,155,439	30,287,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,023,077	1,058,755
1年内返済予定の長期借入金	747,600	737,940
未払金	1,279,759	1,726,514
未払法人税等	637,619	70,618
契約負債	2,567,914	3,117,210
賞与引当金	—	207,137
その他	1,074,790	609,928
流動負債合計	7,330,762	7,528,105
固定負債		
長期借入金	2,431,250	1,878,125
退職給付に係る負債	1,786,153	1,886,187
その他	23,449	61,479
固定負債合計	4,240,853	3,825,792
負債合計	11,571,615	11,353,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,677	5,261,993
資本剰余金	6,485,816	6,328,548
利益剰余金	5,143,458	6,505,846
自己株式	△3,230,813	△3,207,144
株主資本合計	13,631,139	14,889,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,132	160,540
為替換算調整勘定	97,848	116,430
退職給付に係る調整累計額	59,594	54,690
その他の包括利益累計額合計	322,575	331,662
新株予約権	59,147	53,332
非支配株主持分	3,570,962	3,659,229
純資産合計	17,583,824	18,933,468
負債純資産合計	29,155,439	30,287,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	20,138,623	20,536,806
売上原価	6,495,291	5,443,547
売上総利益	13,643,332	15,093,259
販売費及び一般管理費	13,661,078	13,340,975
営業利益又は営業損失(△)	△17,746	1,752,283
営業外収益		
受取利息	72	69
受取配当金	3,961	3,729
為替差益	43,826	48,753
持分法による投資利益	78,045	615,856
その他	68,519	12,040
営業外収益合計	194,426	680,450
営業外費用		
支払利息	8,945	7,846
その他の投資損失	—	48,395
支払手数料	7,903	—
その他	8,154	13,391
営業外費用合計	25,003	69,634
経常利益	151,676	2,363,100
特別利益		
固定資産売却益	454	330
持分変動利益	237,588	—
還付消費税等	873,339	889,323
特別利益合計	1,111,382	889,654
特別損失		
固定資産除却損	11,695	9,290
減損損失	10,546	39,446
投資有価証券売却損	13,450	—
投資有価証券評価損	7,148	31,672
特別損失合計	42,841	80,409
税金等調整前四半期純利益	1,220,217	3,172,344
法人税、住民税及び事業税	740,064	676,073
法人税等調整額	80,969	183,120
法人税等合計	821,033	859,193
四半期純利益	399,184	2,313,150
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,108	69,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	495,293	2,243,737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	399,184	2,313,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,222	4,670
為替換算調整勘定	11,025	17,957
退職給付に係る調整額	2,023	△4,903
持分法適用会社に対する持分相当額	52,619	△8,636
その他の包括利益合計	69,890	9,086
四半期包括利益	469,074	2,322,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,183	2,252,824
非支配株主に係る四半期包括利益	△96,108	69,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	13,650,932	3,340,826	549,583	2,075,311	19,616,654	—	19,616,654
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	42,424	28,712	32,239	418,593	521,969	—	521,969
顧客との契約から 生じる収益	13,693,356	3,369,539	581,822	2,493,904	20,138,623	—	20,138,623
外部顧客への売上高	13,693,356	3,369,539	581,822	2,493,904	20,138,623	—	20,138,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126,522	7,692	—	1,106,850	1,241,066	△1,241,066	—
計	13,819,879	3,377,232	581,822	3,600,755	21,379,690	△1,241,066	20,138,623
セグメント利益 又は損失(△)	4,005,241	△233,708	△569,022	△1,220,395	1,982,114	△1,999,861	△17,746

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,999,861千円には、セグメント間取引消去△33,234千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,966,627千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	1,992	—	8,554	10,546	—	10,546

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	12,459,879	3,985,408	825,220	2,811,124	20,081,634	—	20,081,634
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	55,113	31,470	45,760	322,828	455,172	—	455,172
顧客との契約から 生じる収益	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
外部顧客への売上高	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,644	6,261	15,000	1,213,345	1,349,251	△1,349,251	—
計	12,629,638	4,023,139	885,980	4,347,299	21,886,057	△1,349,251	20,536,806
セグメント利益 又は損失(△)	3,320,732	279,346	△103,869	178,485	3,674,695	△1,922,411	1,752,283

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,922,411千円には、セグメント間取引消去△52,440千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,869,970千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	39,446	—	—	—	39,446	—	39,446

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	1,034,429千円	1,121,687千円
のれんの償却額	204,360千円	137,911千円

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年7月19日開催の取締役会において、2024年9月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社MGSHD、SPSHD株式会社および株式会社MT-App（以下、それぞれ「MGSHD」、「SPSHD」、「MT-App」という）の3社について吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結しました。

1 取引の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業の内容

企業の名称：株式会社MGSHD

事業の内容：有価証券の保有および運用事業等

企業の名称：SPSHD株式会社

事業の内容：有価証券の保有および運用事業等

企業の名称：株式会社MT-App

事業の内容：有価証券の保有および運用事業等

(2) 企業結合日

2024年9月1日

(3) 企業結合の方法

当社を存続会社とし、MGSHD、SPSHDおよびMT-Appを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社エムティーアイ

(5) 企業結合の目的

MGSHD、SPSHDおよびMT-Appでは有価証券の保有および運用事業等を行っていますが、管理コストの観点から当社にて一体運営の方がより効率的と判断したため、3社を当社に吸収合併することとしました。

2 実施する予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等として処理します。